

なんでおそらからおちてくるの？

令和6年12月11日

立憲民主党代表
野田佳彦 殿

#コドソラ（子どもの空を守る）
ヨナシロチエミ
代 表：与那城千恵美

『普天間基地周辺の子どもたちの安心安全な学校環境を求める陳情』

（要望）

- ① 飛行ルートを守り、学校上空の飛行禁止
（普天間小、普天間第二小、緑ヶ丘保育園）
- ② 普天間第二小学校内の土壤汚染改善に関する迅速な取り組み
- ③ 普天間基地を離発着するオスプレイの飛行禁止

2017年12月の緑ヶ丘保育園及び普天間第二小学校に相次いで起こった米軍ヘリ落下物事故から7年が経ちました。私たちの願いは「子どもたちが安心安全に学校へ通えること」。それだけを訴え続けての7年間です。私たちの願いはそんなに過大なお願いなのでしょうか。

昨年、鹿児島沖にて重大事故を起こし、飛行停止していたオスプレイが、飛行再開当日から学校上空を何度も低空飛行し、日常的に戦闘機が飛び交うなど、子ども達の空の危険性はさらに増えています。保育園では、米軍機の低空飛行する日は外遊びをやめて室内遊びにきりかえます。小学校では、「見て、聞いて、止まって、怖いと思ったら逃げましょう」と、自分の身を自分で守るために危機管理能力を高める教えをしています。また、PFASが検出された場所は、子ども達が野菜を作り、みんなで食するという授業が行われていましたが、今ではそれも出来ません。

学校は、心身の発達段階にある子どもたちが、一日の大半を過ごし、勉強や運動、そして、友達と関わりながら成長していくとても大切な場所です。その場所が、子どもたちにとって安心感に包まれた環境であってこそ、健やかに成長していくのではないかと感じています。子どもたちは、日本の未来の光です。住んでいる地域に関係なく一人一人がとても大切に、守られるべき存在です。

地方自治体である宜野湾市議会では、私たちの陳情を全会一致で可決し、意見書を国へ提出しています。国としても、各省庁と連携し、普天間の子ども達が安心安全な学校環境で学び遊べるよう、お力添えをお願いいたします。